

お取引先各位

白銅株式会社

株式会社神戸製鋼所製品に関するご連絡

神戸製鋼所の品質データ改ざんの問題に関してご心配をお掛けしており、誠に申し訳ございません。

弊社が取り扱っている標準在庫品の仕入先である株式会社神戸製鋼所からの報告によると、同社は2017年12月5日と12月8日にJIS認証一時停止の通知を受けたとのことです。

このことを受けまして、弊社が同社から納入を受けている標準在庫品（アルミ板・アルミ丸棒・アルミ押出丸管）について下記の通りに対応させていただきます。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 対象商品

52S切板、YH52切板、52S広巾切板

2017丸棒、5052丸棒、5056丸棒、6061丸棒、5056押出丸管

2. 弊社の対応

今回の品質データ改ざん問題の発覚を受け、弊社は、神戸製鋼所に対し、弊社が納入を受けた製品に関する製品品質の問題につながる事象の有無の調査を求め、同社から、2016年9月以降に製造された製品については製品品質の問題につながる事象が確認されなかったとの報告を受け、該当期間に製造した製品を、標準在庫品として販売しておりました。

その後2017年12月1日に、神戸製鋼所から添付の報告文書を受領し、同社が2014年9月以降に製造した製品については製品品質の問題につながる事象は確認されなかったとの報告を受けました。

弊社は、上記対象商品を安定してお客様に提供するためには神戸製鋼所の製品が必要であると判断し、2018年1月18日から、同社製品の入荷を再開し、「JIS適合規格品」として2018年1月23日より、販売を再開いたします。

※ 「JIS適合規格品」には、JISの認証を取得した商品「JIS規格認証取得品」と、メーカーがJIS規格の品質を保証した商品「JIS規格準拠品」の2種類があります。「JIS規格準拠品」であっても、ミルシートにJIS規格番号の記載は可能となります。（弊社の標準品カタログ2017 16ページ参照）

3. 在庫商品と商品出荷について

(1) 2018年1月17日時点の当社在庫製品は、「JIS規格認証取得品」として販売いたします。

(2) 2018年1月18日以降に入荷する製品は、「JIS規格準拠品」として販売いたします。

(例) 52S切板の場合、ミルシートには JIS H4000 シュンキョ A5052P と記載されます。

4. JIS規格認証取得品とJIS規格準拠品の違いと今後の入荷予定

	ミルシート表記	今後の入荷予定
JIS規格認証取得品	JIS Hxxxx	当面は入荷予定なし
JIS規格準拠品	JIS Hxxxx <u>シュンキョ</u>	JIS認証再取得まで継続入荷予定

以上

2017年12月11日

白銅株式会社 御中

株式会社神戸製鋼所
アルミ・銅事業部門**弊社真岡製造所の JIS 認証の一時停止についてのご報告**

拝啓 貴社ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

弊社は、2017年12月8日に公表されましたとおり、弊社真岡製造所が取得していた「JIS H4000（アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び条）」について、JISの認証機関である一般財団法人日本品質保証機構（JQA）から、2017年12月8日、JIS認証の一時停止の通知を受けました。かかる一時停止の内容は末尾記載のとおりです。貴社には多大なるご迷惑をお掛けすることとなり、誠に申し訳ございません。

かかる一時停止の理由は、品質管理体制が十分ではないというものです。弊社といたしましては、今回の処分については、真摯に受け止め、是正措置等早急に対応する所存ですが、当社による自主点検及び緊急監査においては、「JIS H4000（アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び条）」の対象となる製品（以下「対象製品」といいます。）の製品品質の問題に関する事象は確認されておりません。

また、今回の処分により、対象製品について、JISマークを表示して出荷する事は出来なくなりますが、今後も、JIS規格を満たした製品をご提供させていただく事は可能であり、ご要望があれば、「JIS H4000」という表示に代えて、「JIS H4000 ジュンキョ」という表示をさせていただくことも可能です。

貴社におかれましては、これらの点をご勘案いただいたうえ、弊社との間で、お取引の継続に向けたご相談の機会を設けていただきたく、何卒宜しくお願い申し上げます。

弊社としましては、信頼回復に向けて全力で取り組むとともに、品質管理体制の不備を是正し、出来るだけ早期にJIS認証の一時停止の解除を受けられるよう努力して参ります。

このような事態を招いた事を深く反省し、重ねてお詫び申し上げます。今後とも、何卒宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 一時停止の内容

- ・ JIS マーク表示制度 認証一時停止
- ・ 認証取得者 株式会社神戸製鋼所 真岡製造所
- ・ 認証番号 JQ0307092

2. JIS 認証一時停止となる JIS の番号及び名称

- ・ JIS H4000 アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び条

以上

2017年12月1日

白銅 株式会社 御中

株式会社 神戸製鋼所
全社品質管理統括責任者
後藤 有一郎



貴社向け弊社アルミ押出製品に関するご報告

拝啓、貴社益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

この度は、弊社の品質不正事案に関して、貴社に多大なるご心配をお掛けしましたこと、深くお詫び申し上げます。

貴社向けに納入させて頂いております明細につきまして、以下の通りご報告申し上げます。

敬具

(記)

今回の品質不正事案の発覚を受け、弊社アルミ・銅事業部門においては、2016年9月から2017年8月までの期間(貴社向け押出製品の調査期間2014年9月から2017年8月まで)を対象として、社内監査において検査証明書と検査実績データの突合せによる確認を実施し、その結果、貴社向け以下製品の製品品質の問題につながる事象は確認されておりません。

(対象) 貴社向け在庫棒用・鍛造用及び機械部品用アルミ押出品(長府製造所 製造品)
(弊社製作仕様書)

No. 4-3450*、4-3426*、4-3763*、4-3762*、4-3858*、4-3968*、4-3819*

(品名) 6061-T1・T6、2017-T4、5056-H112、5052-H112、7075-T6511・T6
押出棒、抽伸棒、押出素管

現在も弊社におきましては、全社的な調査を継続して実施しており、万一お客様の製品品質の問題につながる事象が確認された場合には、遅滞なくご報告する所存でございます。

この度は弊社の品質不正事案に関し、ご心配をお掛けしましたこと、重ねてお詫び申し上げます。今後はこの様な事が無きよう、努めてまいりますので、何卒ご理解賜りますよう、お願い申し上げます。

以上

2017年12月5日

白銅株式会社 御中

株式会社神戸製鋼所
アルミ・銅事業部門

長府製造所 アルミ押出品質保証室



弊社長府製造所アルミ押出工場の JIS 認証の一時停止について

2017年12月5日(本日)に公表されましたとおり、弊社は、2017年12月5日(本日)付にて、弊社長府製造所アルミ押出工場が取得していた「JIS H4040 アルミニウム及びアルミニウム合金の棒及び線」、「JIS H4080 アルミニウム及びアルミニウム合金継目無管」、「JIS H4100 アルミニウム及びアルミニウム合金の押出型材」について、JISの認証機関である日本検査キューエイ株式会社(JICQA)から、品質管理体制が十分ではないことを理由にJIS認証の一時停止の通知を受けました。かかる一時停止の内容は末尾記載のとおりです。

貴社には多大なるご迷惑をお掛けすることとなり誠に申し訳ございません。弊社といたしましては、今回の処分については、真摯に受け止め、是正措置等早急に対応する所存です。

なお、当社による自主点検及び緊急監査においては、「JIS H4040 アルミニウム及びアルミニウム合金の棒及び線」、「JIS H4080 アルミニウム及びアルミニウム合金継目無管」、「JIS H4100 アルミニウム及びアルミニウム合金の押出型材」の対象となる製品(以下「対象製品」といいます。)について、製品品質の問題に関する事象は確認されておりません(自主点検の結果については、外部委員会による調査・検討が行われております。)

また、今回の処分により、対象製品について、JISマークを表示して出荷する事は出来なくなりますが、今後も、製品の品質としてJIS規格を満たした製品をご提供させていただきます。また、ご要望があれば、「JIS H4040」、「JIS H4080」、「JIS H4100」、という表示に代えて、「JIS H4040 ジュンキョ」、「JIS H4080 ジュンキョ」「JIS H4100 ジュンキョ」という表示をいたします(備考欄に「本製品はJISマーク表示製品ではありません」というコメントを記載)。

貴社におかれましては、これらの点をご勘案いただいたうえ、弊社との間で、お取引の継続に向けたご相談の機会を設けていただきたく、何卒宜しく願い申し上げます。

弊社としましては、信頼回復に向けて全力で取り組むとともに、品質管理体制の不備を是正し、出来るだけ早期にJIS認証の一時停止の解除を受けられるよう努力して参ります。

このような事態を招いた事を深く反省し、重ねてお詫び申し上げます。今後とも、何卒宜しく願い申し上げます。

1. 一時停止の内容

- | | |
|-------------|---------------------|
| ・JISマーク表示制度 | 認証一時停止 |
| ・認証取得者 | 神戸製鋼所 長府製造所 アルミ押出工場 |
| ・認証番号 | QA0607023 |

2. JIS認証一時停止となるJISの番号及び名称

- ・JIS H4040 アルミニウム及びアルミニウム合金の棒及び線
- ・JIS H4080 アルミニウム及びアルミニウム合金継目無管
- ・JIS H4100 アルミニウム及びアルミニウム合金の押出型材

(ご参考) JISマーク表示制度とは「鋳工業品等の種類、型式、品質、性能、生産方法等を統一等するための基準(JIS規格)を定め、JIS規格に適合する製品には、JIS規格に適合するものであることを示す表示を付すことが出来る制度です。

以上

2017年12月1日

白銅株式会社 御中

(株) 神戸製鋼所 真岡製造所
品質保証室



貴社向け弊社アルミ板製品について

拝啓、貴社益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

この度の弊社の品質不正事案に関して、貴社に多大なるご心配をお掛けしましたこと、改めて深くお詫び申し上げます。貴社向けに納入させて頂いております明細につきまして、下記の通り追加のご説明を申し上げます。

敬具

(記)

1. 対象製品

貴社向けアルミ板製品 (真岡製造所製造品)
A5052P-H112 (YH52/ハイスペック/その他一般)

2. 対象期間

2014年9月1日～2017年8月31日 (3年、検査日基準)

3. 確認方法及び確認結果

検査証明書と検査実績データの突合せによる以下の検証を実施しております。

- 1) 貴社と締結しております製作仕様書の検査項目に沿った規格値と検査結果の合否を判定する真岡製造所のマスターの規格値が整合しているか否かを確認しました。
- 2) その上で、①検査実績値が仕様書規格内であるか否かを確認し、②検査実績値と検査証明書の値が一致しているか否かを確認しました。
- 3) 以上の結果、上記対象期間については、不適切行為 (検査実績値書換え) の事実は確認されませんでした。

現在も、弊社におきましては、全社的な調査を継続して実施しており、万一お客様の製品品質の問題につながる事象が確認された場合には、遅滞なくご報告する所存でございます。また、2016年9月1日から2017年8月31日までの1年間に出荷した製品に関する自主点検結果につきましては、外部調査委員会による検証を受けております。

2017年9月以降に出荷しております製品につきましては、貴社の製品仕様を満たした製品であることを確認の上で出荷させて頂いております。また、今後も貴社の製品仕様を遵守・確認の上で製品を出荷させて頂きます。

この度は、弊社の品質不正事案に関しまして、ご心配をお掛けしましたこと、重ねてお詫び申し上げます。この様な事がなきよう、努めてまいりますので、何卒ご理解賜りますよう、お願い申し上げます。

以上